

アウトサイダーアートと西陣の織り手によるファッションアイテム製作

このプロジェクトはアウトサイダーアートと西陣の融合によるファッションアイテムの製作。“やまなみ工房”で生み出された絵画作品を“西陣の織り手”がテキスタイルにし、“ROGGYKEI”のデザイナーがファッションに展開。アウトサイダーアートと西陣をコラボレーションさせたファッションアイテムを製作する。全体の監修/プロデュースを、“博報堂”と“PR-y”が担う。

アウトサイダーアート
ATELIER YAMANAMI



ATELIER YAMANAMI（やまなみ工房）は、滋賀県甲賀市の障害者施設。現在86名の通所者がそれぞれ独自のスタイルで表現活動を行っている。一人一人の個性や楽しみ、そして生きがいを保障し、その取り組みは全国でも珍しく、実践や実績において今日では国内の障害者芸術を牽引。国内外で作品を発表するほか、スイス「アールブリュットコレクション」やフランス「ABCDコレクション」等、世界的に有名なコレクションに作品が収蔵されるなど、世界的な注目を集めている。

織り手
加地金襴（株）



加地金襴株式会社は、1980年に北野天満宮の門前町にて創業、京都の西陣地域を拠点に、日本伝統織物の真骨頂ともいふべき「金襴織物」を専門とし、寺社仏閣における装飾品をはじめ仏具関係の金襴製品を製造。1,000種以上にもおよぶオリジナルの金襴柄、特に水引・柱巻金襴や夏金襴(金紗)の美しさには定評がある。

ファッションデザイン
ROGGYKEI



ROGGYKEI（ロギーケイ）は、興梠仁と景子のデザイナーデュオが手掛けるファッションブランド。大阪を拠点に活動。“輪”“環”“和”を軸に全ては繋がりに、一つであるという考えをファッションを通じ追求している。そのクリエイションが評価され、レディ・ガガがROGGYKEIの衣装を身につけたことでも有名。タイムレスかつユニークなディテールのオリジナリティを特徴としている。

全体監修・
プロデュース

HAKUHODO & PR-y

PR-y（プライ）とは、2011年にデザイナーやフォトグラファーを中心に結成されたプロジェクトで、主に知的障害や精神疾患を持つ人たちによる創作物の魅力を社会に発信することを目的に活動。国内外のギャラリーや研究機関・教育機関などとも連携し、写真・映像・ファッション・インスタレーションなど様々な手法で障害者とのコラボレーションによる表現活動を行っている。主宰は、大阪・東京を拠点とするデザイン事務所・株式会社リッシの大阪代表・笠谷圭見。

シンガポール家具ブランド“SCANTEAK”と「持続可能性を大切にする西陣ファニチャー」を開発

SCANTEAKはシンガポールに本社を置き世界140店舗以上を展開するチーク家具専門店。インドネシア政府公認の植林地で栽培されたチーク材を使用するなど環境問題に対しての意識が高く、耐久性の高いチーク材で世代を超えて長く大切に使う家具作りを目指すブランド。

一方、西陣織自体が子や孫の代まで引き継がれるほど長年大切に使うものを製造する産業であること、西陣connectでは西陣織職人の後継者問題に取り組むことなどから「持続可能性」を大切にする点で互いに共通点があり、想いを共にして共同家具開発を行うことになる。

西陣織のフクオカ機業の職人たちと、大宮消防署出張所跡地の拠点で商品開発のコンセプト開発ワークショップを開始し、両社の想いを表現する「持続可能性を大切にする西陣ファニチャー」を作るプロジェクトが進行中。



インドネシアのチーク材工場にて
日本支社長ジュリアン氏（左）とシン
ガポール支社長ジェイミー氏（右）



ワークショップの様子



想いを語るフクオカ機業の若手職人

織り手
有限会社
フクオカ機業



明治35年、創業者である福岡金次郎が現所で福岡金次郎商店を創業、常に時代を先駆ける織物開発を行ってきた。近年は西陣織の代表的なシャトル織機を改良し、炭素繊維のような高機能繊維でも横糸が連続する耳付織物として商品化。また、ジャカード織機を用いることにより、炭素繊維に他の繊維を組み合わせ、意匠性のある特殊織物を開発することに成功。特殊織物の実績として、意匠性のあるカーボン特殊織物をホテルのインテリア材として使用したり、靴、小物・雑貨等の商品化などがある。近年は、ゴルフシャフトや釣竿、自転車などのスポーツ業界に採用され、さらに大手自動車メーカーとの開発を行う。

(参考資料)

SXSW出展によって西陣ブランドの発信と
世界中の先進企業やアーティストとの新事業構想を模索

米国テキサス州オースティンにて始まる世界中の新興企業の展示や最新事業アイデアの祭典であるSXSW（サウスバイサウスウエスト）への展示を予定。世界中のイノベティブな大企業やスタートアップ企業が集まる場で西陣connectの初年度の成果物を展示し、世界中へ情報発信し、そこで繋がった人々と意見交換したり、今後の共同プロジェクトへのきっかけとする。

(参考) SXSW公式サイト → <https://www.sxsw.com/>

西陣connect拠点 上京区大宮消防出張所跡地

各プロジェクトを進めるために、プロジェクト関係者や西陣関係者が集まって打ち合わせやワークショップを行う拠点として活用する。人が集まりやすくなるように少しずつリノベーションして快適なワークスペースにしていく。将来的には西陣connectによって西陣を知った若者がまず訪れる、西陣エリアの玄関口として社会に開かれた場所となることを目指す。

所在地：京都市上京区大宮通今出川上る観世町110

